



駒留中だより



響きの学び舎

世田谷区立駒留中学校 校長 加瀬 康夫
世田谷区下馬 4-18-1 Tel.3424-3070

きれいだなあというと景色がなおきれいになる (高村 光太郎)

高村光太郎さんは彫刻家・画家として有名であり、詩人として「智恵子抄」という詩集なども書かれました。その中に「あどけない話」という「智恵子は東京に空が無いといふ、ほんとの空が見たいといふ。」から始まる有名な詩があります。智恵子とは、高村光太郎の妻であり、故郷が福島県の安達太良山がみえる緑豊かなところだったそうです。妻の願いをかなえるために（故郷の空を見せてあげようと）旅をしてきれいな風景に出会い感動して「きれいだなあというと景色がなおきれいになる」と言ったそうです。

きれいなものを見たときに人は感動します。その感動を自分一人の心の中でそっと大事にしておくこともできます。しかし、その感動を素直に「きれいだなあ」と言葉にすると周囲の人に伝えることができます。すると、その景色のきれいさに関心のなかった人にも気づかせることとなります。また、自分の声が自分の耳に入ってきて、その景色のきれいさをより感じることができます。

先日の全校朝会で、（入学式の時にも話したのですが）「言葉の使い方」について話をしました。『言葉の使い方次第で自分の気持ちも変わってしまいます。

「もう無理、やだ、面倒くさい」などの否定的な、努力をしないあきらめてしまう言葉を使っているのは、元気も出なくなります。…前向きな言葉を大切にしてください。』というような内容です。

日本には昔から言霊という言葉がありますが、言葉には不思議な力があることは間違いありません。前向きな言葉、否定的な言葉以外にも、温かな雰囲気を作り出せる「優しい言葉」もあれば、とげとげした殺伐とした空気にしてしまう「汚い言葉」というものもあ

ります。

たった一つの言葉でもうれしくなったり悲しくなったりすることは今までに経験したことがあると思います。例えばスポーツなどでよいプレイができた時、「ナイスプレイ」などの言葉をかけられるとうれしくなるでしょう。うまくいかず失敗した時だったら、どんな言葉をかけられるとイヤなのか、どんな言葉なら今度は頑張ろうと思えるでしょうか。自分がかけられて嫌な言葉は他の人だって嫌な言葉です。「何やっているんだ。」というような言葉を選ぶのか、「次、頑張ろう。」というような言葉を選ぶのかで、雰囲気は全然変わるはずです。

また、考えてもらいたいこと、気を付けてもらいたいことがあります。無意識でとか、深く考えずに「否定的な言葉」「汚い言葉」を使ってしまっていることはないでしょうか。「〇〇のくせに」「〇〇みたい」など、自分は気にならなくても聞く人によっては気になったり、嫌な思いをしたりする言葉を使ってしまっていることはないでしょうか。言葉には、地域性とか年代とかで「気になる」「気にならない」といった差があるかと思いますが、（最近よくテレビなどで、「東京では～だけど、〇〇では～」とか「昭和世代では～だけど、令和世代では～」など見かけたりもしますが）受け取る相手の気持ちを思いやること、気を付けようとすることは大事だと思います。

自分の感じた、明るいきれいな感情を素直に言葉に表し、みんなが楽しい温かい雰囲気な中で過ごせるようにしたいものです。自分の言葉が持っていること力を忘れずに大切にしてもらいたいと思います。

人格の完成をめざして (11月)

かけがえのない一人の人間として、互いの人権を尊重し、公平、公正に行動していますか？

スポーツの試合などで、フェアな精神で全力を尽くします。いじめなど、卑怯なことは絶対にしません。素直に謝られたら、広い心で受け入れます。



駒留ルネサンス 合唱コンクール【10月16日(水)】

めぐろパーシモンホールにおいて、「第38回 駒留ルネサンス 合唱コンクール」を行いました。昨年度は、この時期にインフルエンザの流行などもありましたが、今年度は無事に実施することができました。会場確保の関係で平日開催の行事となってしまっておりますが、多くの保護者の方にご参観いただき、本当にありがとうございました。

1年課題曲「大切なもの」

自由曲 1組「Forever」 2組「COSMOS」 3組「あすという日が」

2年課題曲「時の旅人」

自由曲 1組「予感」 2組「花は咲く」 3組「モルダウ」

3年課題曲「大地讃頌」

自由曲 1組「cantare～歌よ大地に響け～」 2組「あすの空にはばたける翼を虹」 3組「言葉にすれば」



第2学年校外学習【11月1日(金)】

11月1日(金)に【最先端のデジタルアミューズメントパーク「RED° TOKYO TOWER」で満喫!】というプログラムを含めた校外実習を行いました。アトラクションを通じて、VRやARといった先端技術が体験できると共に、普段知ることのない仕組みの部分まで学ぶという経験と、今後の校外学習につなげる為に行いました。



響きの学び舎の活動紹介

10月22日(火)～24日(木)の3日間、駒留中学校の生徒会役員が駒繫小学校前で児童と一緒に登校時にあいさつ運動を行いました。(中丸小学校とは11月26日(火)～28日(木)を予定、旭小学校とは実施済みです。)

また、10月26日(土)に旭小学校で行われた運動会に20名の生徒がボランティア参加をしました。



救助袋の活用訓練【11月11日(金)】

学校では、月に1回の避難訓練を計画的に実施しております。今回は、火災を想定した避難訓練と合わせて救助袋の活用訓練を行いました。救助袋とは火災等が発生したときに階段を利用して安全な場所まで避難することができなくなった場合に備えて設置されている器具ですので、使用せずとも避難ができるに越したことはないのですが、万が一の事態にも対処できるようにということで実施いたしました。



フィジー共和国の大臣による訪問がありました

10月22日(火)にフィジー共和国「防災の主流化促進プロジェクト」として、独立行政法人国際協力機構(JICA)から連絡をいただき、学校耐震化に関する説明、校舎見学(耐震設備、防災倉庫)のために大臣を含めた5名の方の訪問が行われました。また、質疑の中で日本における学校施設の防災避難所についての活用や避難訓練や安全指導などの取り組みの様子などを説明させていただきました。

